

どのような検査結果がでるの？

脳梗塞リスク値としてその状態を表し、数値が高いほど“かくれ脳梗塞”の可能性が高くなります。脳梗塞リスク値を段階的に区別することで、検査後のリスク対応につなげるコメントなどが記載されています。

リスク値が高かったら どうしたらいいの？

“かくれ脳梗塞”がある可能性が高いため、頭部MRIなどの画像診断で精密検査をお勧めしています。“かくれ脳梗塞”があると脳卒中、認知症になりやすいといわれていますので、未病のうちにリスクを捉えて、健康寿命を延ばしましょう。

どれくらいの頻度で 受けるといいの？

脳梗塞リスク評価は細胞の壊れ具合と関連することから、その日その時のリスクが分かります。一生涯の脳梗塞リスクを判定するものではありませんので、1年に1回程度の定期検査をお勧めしています。



株式会社アミンファーマ研究所

〒260-0856 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-15
千葉大亥鼻イノベーションプラザ402

我々は脳梗塞リスク評価サービスを通じて
皆様の健康をサポートします

世界で初めての脳梗塞リスクマーカー
**脳梗塞リスク評価で
(A6C)**

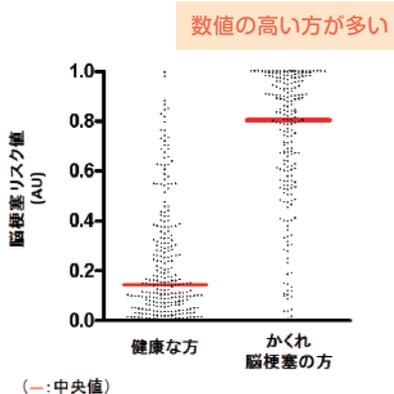
脳梗塞リスクを手軽に把握

株式会社アミンファーマ研究所

脳梗塞になるリスク II かくれ脳梗塞？

自覚症状がない、小さな脳梗塞を持っている
“かくれ脳梗塞”または“無症候性脳梗塞”といい、
脳梗塞になるリスクが高いといわれています

かくれ脳梗塞の方は数値の高い方が
多いということがわかっています



“かくれ脳梗塞”はあるのか “簡便・安全”に検査できます

脳梗塞リスク評価(A6C)は、血液検査で脳梗塞の
リスクをしらべます。脳梗塞で細胞が傷つくと血
液中で増える『アクロレイン』、炎症性マーカー2
種と年齢を組み合わせた独自の算出方法により、
早い段階に高確率で“かくれ脳梗塞”の可能性をし
らべる新しい検査です。



次のような方に 検査をお勧めします！

- ✓ 脳健康が心配な方
- ✓ 50歳以上の方
- ✓ 血圧が高めの方
- ✓ 糖尿病や高脂血症の方
- ✓ 喫煙されている方
- ✓ 脳ドックを受けるか迷われている方
など

※検査は脳梗塞リスクに関する情報を提供するものであり、
脳梗塞を診断するものではありません。

脳梗塞リスク評価(A6C)は 当医院にて検査が受けられます

これまで脳卒中の早期発見・予防に関心の高い
複数の健康保険組合、共済組合に導入されています。

